

平成29年度 たつの市認知症施策一覧

(たつの市地域包括支援課)

認知症の方

家族

地域

介護

医療

予防

気づき(早期発見)

診断・治療

在宅生活・地域での見守り

7 認知症の人やその家族の視点の重視

1 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- 認知症に関する出前講座の充実：「認知症予防・回想法講座」「知って安心！認知症講座」等
- いきいき百歳体操参加者への普及(新)：いきいき百歳体操4年目の参加者に対し、認知症予防についての講座を実施。
- 認知症サポーター養成講座・フォローアップ講座：認知症を正しく理解し、認知症の方やその家族を応援する人(サポーター)養成の出前講座等を実施。認知症サポーターの自主的な活動を推進する。
- 認知症キッズサポーター養成講座：学校教育の中で、認知症への理解を深めるため認知症サポーター講座を実施。
- キャラバン・メイトの活動支援：キャラバン・メイトの活動を支援。定期的に連絡会実施。
- 認知症生活べんり帳の普及：認知症に関する事業、サービス、社会資源等をまとめたパンフレットを配布。

2 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護の提供

- 認知症初期集中支援チームによる支援：専門家チームが本人や家族を訪問し、家族支援や必要な助言を行い、必要な医療・介護サービスの利用に至るまで支援する。
- ODASCを使用した実態把握訪問による認知症早期発見
- もの忘れ相談の実施：医師の認知症専門相談、年6回
- 認知症等に関する医師会・西播磨認知症疾患医療センターとの連携会議：年数回実施予定
- 認知症連携ツール：認知症の方が入院・入所する際に、BPSD 連携表(かかりつけ医が記入)、OLS 基本情報(ケアマネが記入)で連携を図る。
- 赤とんぼ連携ノート～認知症に備える私のノート～の普及：認知症になる前から、医療、介護の情報や大切なことを書いておき、本人の希望に沿った支援、連携支援に役立てる。自治会、老人クラブ、民生児童委員の会合、出前講座にて積極的に周知。
- 認知症生活べんり帳の普及
- かかりつけ医向け認知症対応力向上研修・病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修
- 認知症ライフサポート研修：認知症多職種研修。早期介入やチームケアの必要性を学ぶ。



3 若年性認知症施策の強化

- 若年性認知症交流会(きりかぶカフェ)：NPOいねいぶると協働し、若年性認知症の方やその家族が「集う」「(必要な支援に)つながる」「リハビリがてら働く」場として開催。

6 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその効果の普及の推進

- 西播磨認知症疾患医療センターへの協力

4 認知症の人の介護者(家族)への支援

- 認知症初期集中支援チームによる家族支援
- たつの市認知症カフェ連絡会：認知症の人や家族の介護負担の軽減を図るため、誰もが気軽に参加でき集う「たつのカフェ(認知症カフェ)」の運営支援を行うために、情報交換の場として連絡会を開催。(年2回程度)

5 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進

- はいかい高齢者見守り SOS ネットワーク：事前登録(ピカッとシューズステッカー)、緊急時の検索体制、日常の見守り体制の構築を図る。
 - はいかい高齢者家族支援サービス(改)：GPS 端末機を利用した所在不明時の検索、保護サービス。平成29年度より、靴に入る小型GPSを導入。
 - 安心声かけ体験講座・訓練：はいかい高齢者への声かけの仕方を学び、地域における見守り体制を強化するための講座を実施。希望される自治体で模擬訓練を実施。
 - 介護マークの普及：認知症の人の介護において、介護中であることを周囲にわかりやすくするための名札型介護マークを配付。
- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| ○生活支援の充実 | ○住宅等の環境整備 | ○社会参加の支援 |
| ○消費者被害の防止 | ○成年後見制度の活用促進 | ○高齢者の虐待防止 |



★ 定住自立圏構想連携事業

- 認知症初期集中支援連携事業：圏域内の他市町の認知症初期集中支援チーム立ち上げのため、人材育成支援、相談支援を行う。
- 高齢者等SOSネットワーク構築事業：「ピカッとシューズステッカー」を圏域で共通の見守りグッズとし、徘徊対策の圏域ネットワークを構築する。